



平成29年度京都大学防災研究所 一般研究集会「台風研究会」のご案内
 —激甚化する台風災害の要因解明と減災へ向けて—

2016年に6つの台風が日本に上陸し、上陸数は2004年以来最大となりました。また多くの台風が全国に接近し、特に北日本では台風の接近・上陸による自然災害が相次ぐなど、地域社会は甚大な被害を受けました。本集会では気象学、海洋学、風工学、土木工学、情報学、生態学といった様々な分野の研究者が一堂に会し、それぞれの視点からの台風に関する研究成果を提示し、議論を交わすことで、激甚化する台風災害の要因を解明し、対策を提案することを目的とします。興味と関心のある方は是非御参加下さい。

研究代表者：和田章義（気象研究所台風研究部）
防災研担当者：竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）
主催：京都大学防災研究所
日時：2017年9月28日（木）、29日（金）
場所：京都大学宇治キャンパス
 防災研究所連携研究棟3階大会議室
 （JR奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅より徒歩約10分）

講演をご希望の方は、2017年7月31日（月）までに、講演題目や講演者名などの情報を合わせて下記の問い合わせ先メールアドレス宛にお申し込みください。旅費の支給をご希望の方は、その旨もお知らせください。参加のみご希望の方も、同様にご連絡ください。原則として講演者を優先させていただきます。支給できる旅費には限りがあるため、希望者数によっては完全にご希望に添えるとは限りませんので、ご了承ください。また、観光シーズンで混み合う時期ですので、早めに宿泊先を各自でご用意下さい。

問い合わせ先：
 和田章義
 E-mail：tcws2017@storm.dpri.kyoto-u.ac.jp
 詳細については下記 Web をご覧ください。
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/8903/>
http://www.mri-jma.go.jp/Dep/ty/IND/IND_wada/TyphoonResearchMeeting20170928-29.html